

令和2年度 滝頭地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地域の現状として、起伏の多い地域であり地域ケアプラザに気軽に通うのも高齢者にとっては難しいところがあります。また、地域包括ケアシステムの構築については初期段階にあります。今後の方向性として、従来どおり積極的に地域に出向き、顔の見える関係作りを引き続き行います。また学校関係者等との連携を深め、生徒や保護者にも地域ケアプラザの周知を図ったり、広報誌や事業のチラシの配布場所を拡充します。地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域関係者や区役所・区社協・介護保険事業所などの繋がりを強め推進を図ります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	圏域の小・中学校で継続的に福祉学習を開催し、子どもと保護者及び学校関係者にケアプラザの機能を周知する。小・中学校と協働して下半期中2回は福祉教育の実施を行うよう努める。また、現在広報誌や自主事業のちらしを配架しているところに配架を継続するとともに、地域のスーパーなどにも配架を新しく開拓するよう努める。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「地域ごみ拾いウォーキング」を開催し、地域住民が参加する事により「顔見知りの関係」を増やし、「健康づくり」と「地域美化・地域貢献」で「活躍の場」を作り、新たに担い手となる素地を提供する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生活支援コーディネーターと連携し、今年度立ち上げ予定のサービスBの事業所や、ボランティア活動団体、住民主体の活動の場などの情報収集をする。委託の場合は、サービス担当者会議や、各種研修会等の場で居宅介護支援事業所への情報提供を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岡村西部第一自治会、市営岡村住宅にて全戸配布した「見守りチェックシート」の効果測定を行い、効果があったこと、改善が必要なこと等を情報共有し、包括レベル地域ケア会議等にて、他の自治会への活用へとつなげる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

コロナ禍により、事業の中止や縮小せざるを得ない状況でしたが、担当者一人ひとりが知恵を絞りながら可能な限りの事業実施に取り組みました。新規で行った「ウォーキング&ゴミ拾いin滝頭」は多数の方々に参加してもらい、継続希望者も多かったため次年度以降も実施していきたい。またサービスBの立ち上げ支援に関り、事業が継続していけるよう今後も支援をしていく。スーパーの地域貢献バス巡回事業には区と情報共有しながら実施に向けた打合せを重ねた。次年度からは「withコロナ」も踏まえ、それぞれの事業の在り方を考えていきたい。

区からのコメント

今年度は、新型コロナウイルス感染症による影響で、地域ケアプラザ及び地域での事業も様々な影響があったと思います。その中でも工夫をしながら実施した事業も多く、健康づくりと美化、新たな参加者を取り込む等様々な視点を目的に実施された「ウォーキング&ゴミ拾いin滝頭」はコロナ禍でも実施可能な取組として有効だったと思います。今後も継続し、仲間づくりや地域ぐるみの広がりになることを楽しみにしています。また、サービスBの新規開所では、準備期間からの地域ケアプラザのバックアップがあってこそ、着実に活動が開始されていると思います。社会資源の創設に向けては、地域福祉保健計画や生活支援体制整備事業を連動させて、区としても取組んでいきたいと考えています。次年度以降については、個別対応の積み重ねからわかる地域ニーズ・課題を職員間で共有し、地域福祉保健計画を絡めて地域と一緒に解決していく下地作りをお願いしたいと思います。特色の異なる二つの地区の特徴をとらえて長いスパンで見た事業の展開を期待しています。